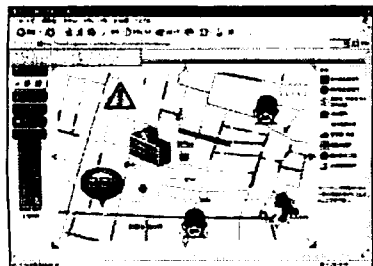


安全マップづくり

児童生徒を守るための教育ツール



専用ソフトを活用すれば、より簡単に作れる

出来上がったマップは、学校や保護者、さらに地域で共有し、防犯活動に役立てたい。専用ソフトを活用すれば、わかりやすいだけでなく、インターネット上で公開も可能だ。

昨年十二月、文部科学省では「登下校時における幼児児童生徒の安全確保について」との通知を発表した。このなかで、子供たちに通学安全マップを作成することが勧められている。通学路において、危険な場所はどこか、どうしたら危険を回避できるかが、マップづく

くりに取り組むことで身につくからだ。

通学安全マップづくりにおいては、地図に印をつけるだけでなく、写真や注釈を目立つように入れて、どこがどのように危険な場所なのか一目でわかるようにすることが望ましい。

地域で子どもを守るための 通学路安心マップ



簡単操作で子供が防犯マップ作りの主役です。コンピュータ地図上にアイコンを貼り付けたり、デジカメで撮った写真を貼り付けるなど、簡単な操作で子どもたちが「安全通学路マップ」をつくれます。内容を先生、自治体担当者がチェックしてWebGIS公開することで保護者、地域住民と安心安全情報を共有できます。自治体の教育委員会の防犯教育用のWebメニューとして最適な製品です。

株式会社マップクエスト <http://www.mapquest.co.jp/>
 本社/豊橋市大岩町下瀬27-1 TEL.0532-43-0400 FAX.0532-43-0433
 [東京オフィス] TEL.03-5840-6112 [名古屋オフィス] TEL.052-323-5251